

そらわ通信

2016. 12. 21

大井町立相和小学校

学習の成果を せいっぱい伝えた 学習発表会 そして… いよいよ冬休みです

12月3日の学習発表会では、音楽・国語・総合的な学習の時間等で学習・発展させてきたことを、各学年工夫してまとめ発表しました。どの学年の発表も伝えようという思いがあふれ、相和の豊かな自然や歴史・人との関わりの中で、多くのことを学び、心ものびやかに育っている成長のようすがみえる発表となりました。発表の後には大きな拍手が送られ、子どもたちに、笑顔と「がんばってきてよかったなあ」という達成感が広がりました。相和小らしいよい学習発表会となりました。子どもたちをいつも温かく見守り、学習を支援し、そして大きな拍手を送ってくださった地域・保護者の皆様に、心から感謝申し上げます。



いよいよ冬休みを迎えます。年末年始には、子どもたちへ伝えたいさまざまな行事・慣習があります。休み中は子どもたちにとって、家庭で、地域で、多くの方と関わり多くのことを学ぶ貴重な機会です。大掃除・あいさつ・どんど焼き・・・子どもたちには地域の行事等に参加し、地域の方と積極的に関わってほしいと願っています。相和地域の皆様との温かなつながりが、子どもたちの心を豊かに育てています。

今年も、保護者・地域の皆様のおかげで、子どもたちは安心して元気いっばいに学校生活を送ることができました。心から感謝申し上げます。どうぞよい年をお迎えください。

5年 総合 「お米サミット ～OKO 名人がつなぐ和食～」

お米大好き5年生が、おいしいお米をつくろう、おいしいお米で炊いたご飯に合う漬け物・おかずをつくろうと取り組んできた OKO 名人への道、田んぼ育成会の方たちのご指導のもと取り組んできた「極米」づくりを、「お米サミット」の話し合いとしてまとめ発表しました。ICT 機器を使い発表したり、イネの苗の生長と害虫との戦いを楽しく演じたり、先に続く「極レストラン」の宣伝をしたり、もりだくさんの発表となりました。さらに、終了後には収穫した「極米」の販売もおこないました。この収益が「極レストラン」の資金となる予定です。購入してくださった皆様には、5年生が極米をお届け中です。



1年 音楽 「くじらぐも」

ギャラリーのくじら（先生）の「ここにおいでよう」の声かけにつられて、だんだん子どもたちがステージ上のくじらぐもに近づいていくなか、見ている人もいっしょに「天まで届け、一、二、三！」のかけ声、くじらぐもにのって歌った「海」の歌、手作りのスズランテープの海と魚たち、キラキラ星のピアノ演奏等、音楽・国語の学習がたっぷりに入った楽しい劇を、1年生が元気いっばいに演じました。おかげで「くじらぐも」の世界へたっぷりひとたることができました。劇中の「6年生が手を振っているよ！」の台詞に、アドリブですぐ手を振り返る6年生の姿に、さすが相和っ子とそのつながりを嬉しく思いました。



2年 国語 「がまくんとかえるくん」 「ぼうし」と「がたがた」



がまくんとかえるくんシリーズの中で、定番の「お手紙」ではなく、2年生が劇でやりたいと考えたのは「ぼうし」と「がたがた」。

このむずかしいお話をどうやって劇で表すのだろうと心配していたのですが、子どもたちと担任の工夫で、

この心配は全てふきとばされました。大きな帽子が小さな帽子にすり替わる魔法に、二つの場面を上手に使いお話の世界を切り替える工夫、そして効果音に、子どもたちの身体いっぱい使ったの大きな動きと台詞で、

どちらのお話の世界も楽しく、またぶるぶると、十分に味わうことができました。



4年 音楽 「12人の音楽隊」

スタートは二手に分かれてのクラッピング（手拍子）から。笑顔で元気いっぱい、4年生のパワー全開のリズミカルなクラッピングミュージックに、体育館全体が一気に音楽の世界へひきこまれました。

次に4・5年生で音楽会で歌った「この星に生まれて」を、4年生だけでいねいに歌いました。「次年度の音楽会はぼくたちに任せて！」と頼もしいメッセージが添えられました。

最後はさまざまな楽器を駆使した合奏名人が多い高学年の演奏を聴いてきた4年生が、次は自分たちの番と、「茶色の小びん」をキーボード、ドラム、木琴等の楽器を分担して見事な演奏できかせてくれました。



3年 総合 「虫とりGO!! ～宝の町へ～」

春から理科で生き物さがしと観察を続けてきた3年生。夏にはセミの抜け殻を、学校のグラウンドを中心に探し続けました。教室では、蝶のさなぎへの変身の瞬間、羽化の瞬間をみんなで見守りました。虫かごに入ったたくさんの昆虫を、毎日のように観察し、それを図鑑にまとめました。この取り組みの中で、3年生はますます虫が大好きになりました。

この集大成として取り組んだ発表、「虫とりGO!! ～宝の町へ～」は、子どもたちのこれまでの学習、発見がいっぱいつまっていました。毎日の練習がとても楽しかったようです。練習を通して、子どもたちの協力・結びつきも強くなりました。3年生が作った図鑑は、図書室へ置くことになりました。



6年 総合「2016年

SOP～これからの相和～

小学校最後の学習発表会、『SOP（相和応援プロジェクト）』で取り組んできたこと、『SOP』



の取り組みの中で深めてきた相和への思い、そしてその思いを発信するまでを、新米新聞記者が『相和ブランド』を取材し、新聞にまとめるまでのストーリーにまとめ、ICT 機器を活用し、場面転換も自分たちでおこない、壮大に演じました。

相和ブランドとは何だろう？新米記者が取材して回ります。多くの農作物が収穫できること、豊かな歴史が息づいていること、豊かな自然があふれていること、どれも相和のよいところ、でも、本当に大切なこと、それは・・・『人と人との関わりがあること』へとたどりつきます。新米新聞記者たちは、そのことを確信し、大きな大きな新聞に記事をまとめました。途中には、音楽大好きな6年生のすばらしい演奏もありました。



最後に、この取り組みを通して学んだこと、相和への思いを、一人ひとりが伝えました。そして、その思いを込めて、17人で歌いました。曲は相和小学校校歌。新たに3番の歌詞が加わり、高音低音のハーモニーが響く、さらにパワーアップした校歌でした。ステージいっぱいの大きな新聞、そして体育館いっぱいに広がった相和への思い、相和小リーダー6年生の最後の発表にふさわしい、すばらしい発表となりました。



学年発表の間には、全校合唱「小さな世界」（手話付き）を歌い、会の最後には最後まで発表を見守ってくださった方たちへ「ありがとうございました。」と感謝の気持ちを伝えました。子どもたちが全力で取り組んだ学習発表会はこうして終わりました。



よいよい学びをめざして ～ 冬休み中の我が家のルール相談を ～

子どもたちに学び続けていく力を育むことをめざし、後期より全学年共通で家庭学習（宿題＋家庭学習ノート）の取り組みを始めました。学年の発達段階により宿題と家庭学習ノートの比重、取り組みの差はありますが、保護者の皆様のご協力により定着してきていることを感じます。ありがとうございます。一方で、12月の面談で家庭学習に関する相談もいただきました。学校と家庭で連携して取り組めるよう、懇談会等で話題にしていきたいと思っております。直接のご相談も大歓迎ですので、ご相談ください。

いよいよ冬休みです。休み中の家庭での生活について、ぜひ「我が家ではどうする、我が家でのルール、これだけは守ろう」をお子さんと話し合ってください。そのなかで家庭学習についてもいつやる、どのようにやる等を話し合えるといいと思っております。

1月12日に、観点別学力到達度診断テスト（全学年 国語・算数2教科）を実施します。12月までの当該学年の学習内容の理解の状況を把握し、年度内の教育活動で学習内容の確実な習熟をめざします。

ありがとうの気持ちを伝えよう

ありがとう集会 12月13日

12月13日に、ありがとう集会をおこないました。

この集会は日頃お世話になっている学校支援ボランティアや地域の方たちに感謝の気持ちを伝えようと毎年行われています。今年もおよそ20名ほどの方にご出席いただきました。

相和小学校には、多くの地域の方たちに、全校、学年等で、多方面において温かくご協力をいただいています。

この会を通して、子どもたちは自分たちの学校生活が多くの方たちに支えられていることを知り、感謝の気持ちを持ち、伝える大切な場となっています。

今年のありがとう集会でも、子どもたちは感謝の言葉に加え、全員で会に参加する姿勢・まなざしそして歌声に感謝の気持ちをこめようと取り組んできました。（以下、子どもたちの感謝の言葉等の一部を紹介）

- 1 はじめの言葉
- 2 学校長の話
- 3 ボランティアの皆様を紹介
- 4 各学年からお礼の言葉
- 5 全校児童から歌の贈り物
- 6 学校支援ボランティアの方からの言葉
- 7 終わりの言葉



登校指導をしてくださる福田さんへ

いつも、学校にいっしょに行ってくれてありがとうございます。ぼくは、福田さんのことをヒーローみたいだと思います。なぜかというと、おうだんほどをわたれるようにしたり、かさがひらいていると、とめてくれたりしてくれるからです。これからも、ヒーローみたいにぼくたちをまもってください。



感謝の言葉のあとは、歌のプレゼントです。「やさしさの玉手箱」を心を込めて歌い上げました。

最後に、学校支援ボランティアを代表して 長年登校指導をして下さっている福田光子さんから話をいただきました。毎朝登校班で会う子どもたちとかわすあいさつから元気もらっていること、正門までくると、あいさつ運動の子どもたちが笑顔で待っているようすなどにふれ、相和っ子のよさをお話いただきました。お話からは、いつも温かく包み込むように子どもたちみんなを見守って下さっていることがしっとりと伝わり、子どもたちに笑顔がひろがっていきました。やさしさがあふれるすてきなありがとう集会となりました。